

ほんべつ 議会だより

No.96

令和3年2月1日発行



本別中央小学校の冬休み学習サポートが、本別高校の1年生と3年生11人を特別講師に招き、中央小第一体育館で開催されました。参加した子どもたちは高校生のお兄さんお姉さんの丁寧な指導を受け、冬休みの宿題に真剣に取り組んでいました。

いっしょに勉強したよ!!

12月25日、28日 本別中央小冬休み学習サポート

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会



第4回定例会

第4回

定
例
会

地域産品販売促進事業

事業の詳細は。

令和2年第4回定例会は12月1日に開会し、各会計補正予算、条例制定などを審議しました。

審議された内容は次のとおりです。

感染症簡易検査装置導入など の補正予算等を可決



一般会計補正 手洗い場自動水栓

議会からのコロナ対策の要望が反映され

年次執行に向けて、計画の妥当性や、しっかり完成するかを含めて審議会で判断します。

なお、検査は医師の判断に基づき行われます。

起業家等支援事業

これから申請が上がってきて審査等があるが、年度内に奨励金の支払い等は間に合うのか。

条例改正 国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の一部改正により令和3年1月から給与、公的年金等の住民税控除が見直され、収入から控除される所得控除額を10万円引

本別町議会議員及び本別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

町議会議員選挙及び町長選挙に係る選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ビラの作成、選挙運動用ポスターの作成について、上限額を設け公費負担の対象とします。



半額で ここにあいしい 贈り物

答 3千円と5千円を基
本とする地域産品ギ
フトセットを半額助成して
販売します。

また、給与、公的年金所得者が二人以上いる場合は、所得金額の調整のため、一人につき10万円を加算します。所得の種類に関わらず一律対象となることから、190万円ほど税収減となります。

病院事業会計補正

たのか。また、自動水栓化に伴う単価は。

対象者と影響額は。

感染症簡易検査装置 の判定時間と精度は。

検査結果判定まで13分となっています。精度は100人のPCR検査陽性者を検査した場合、93人の陽性者を検出できます。

答

議会からの要望によ

り、中央小と本中12力所、勇小と仙小6力所、勇中3力所を自動水栓に交換します。

なお、工賃を含めた平均単価は3万9千円です。

検査装置の判定時間と精度は。

検査結果判定まで13分となっています。精度は100人のPCR検査陽性者を検査した場合、93人の陽性者を検出できます。

答

議会からの要望によ

り、中央小と本中12力所、勇小と仙小6力所、勇中3力所を自動水栓に交換します。

なお、工賃を含めた平均単価は3万9千円です。

検査装置の判定時間と精度は。

検査結果判定まで13分となっています。精度は100人のPCR検査陽性者を検査した場合、93人の陽性者を検出できます。

答

議会からの要望によ

り、中央小と本中12力所、勇小と仙小6力所、勇中3力所を自動水栓に交換します。

なお、工賃を含めた平均単価は3万9千円です。

答

議会からの要望によ

第7回臨時会

選挙時に選挙公報を発行し、有権者が各候補者の氏名、経歴、政見等について知る機会の拡充を図ります。

本別町選挙公報の発行に関する条例の制定



ポスターも公費負担に

財源は交付税措置されないので。

問

ビラの作成経費は交付税に算定されます。

その他の経費については一般財源となりますので、国に交付税措置されるよう要望していきます。

①職員の給与
②常勤特別職の給与
③議員報酬
に関する条例の一部改正

条例改正・議員発議

第7回

臨時会

開催日
11月24日

令和3年1月13日から
教育委員会委員になる
丑若理恵氏
(勇足東2)

の任命(再任)に「同意」しました。

投票日の前日までに有権者へ配付できるよう、郵送を検討しています。

告示から投票日までの5日間と期間が短いが、配付方法は。

を0・05月分引き下げる内容です。なお、②特別職(町長・副町長・教育長)、③議員も同様の引き下げを行います。

この改正に伴う令和2年度期末手当の影響額は、職員全体で451万5千円、議員全体で11万6千円の減額となります。

令和2年度各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(7,208万5千円) 80億3,275万4千円	人事院勧告及び人事異動等による人件費の調整(臨時会) 感染拡大の影響に伴う事務事業中止による減及び感染予防対策経費の増(定例会)
特別会計	(△24万9千円) 11億4,936万6千円	感染拡大の影響に伴う会議等の中止による減(定例会)
	(△48万5千円) 1億4,198万8千円	事業費確定による減(定例会)
	(97万7千円) 10億3,540万5千円	制度改正に伴うシステム修正による増(定例会)
	(△151万円) 3億9,171万7千円	執行見込みによる減(定例会)
	(27万2千円) 1億333万2千円	配水管等施設の修繕料の増(定例会)
水道事業会計	(△539万1千円) 4億6,345万6千円	執行見込みによる減(定例会)
	(△188万6千円) 2億2,878万4千円	執行見込みによる減(定例会)
病院事業会計	(△379万3千円) 14億1,569万1千円	感染症検査用器械の購入による増及び執行見込みによる減(定例会)

※第7回臨時会(11月24日開催)含む

問

独自の民間給与水準調査を行わずに提案するは何故か。

議員全体で451万5千円、議員全体で11万6千円の減額となります。

院勧告の調査結果を参考とすることが合理的であります。国からもそのような考え方

が示されています。

答

得られるサンプル数に限界があり、費用

対効果等も考慮すると人事院勧告の調査結果を参考とすることが合理的であります。

本件に反対者の討論

梅村議員

①若年職員に配慮し、成果に応じた報酬制度の導入を。
②職員と同率ではなく、トップから身を切る覚悟を。
③我々自身もさらに身を切る覚悟を示すべき。

採決の結果

(①②③同じ)
賛成者10人
反対者1人



①職員の給与水準を民間と均衡させる適当な措置。
②勧告に伴うもので、身を切る改革とは違う。
③勧告の内容を鑑み、先の議員協議会で承諾済み。

賛成者の討論

①藤田議員、②柏崎議員
③大住議員

一般質問

7人の議員から12問



式典のみの開催となった今年の成人式

①成人式の開催は、管内でコロナ感染が急増している中、慎重な判断が必要では。
 ②卒業式や入学式は、昨年度よりさらに感染対策を強化し実施するべきですが考えは。

③国が示す通知内容は相当厳しく、現段階では明言できる状況ではありません。地域における実情等を考慮しながらの対応となります。
 ④一律に定員や制限を設定するのは難しいです。

高橋町長 ①通信販売、宅配事業も外出自粛の傾向から拡

柏崎議員 国のイベント開催制限や見直し、現在の状況を踏まえ、万全の対策を取り、実施することが望ましいと考えています。

①成人式は、一生に一度の晴れ舞台ですので、万全の対策を講じ、本年度は式典のみ挙行します。
 ②卒業・入学式は、思い出に残るかけがえのない行事ですから、前回と同様の対応を想定し、実施します。

②納税や各種申請をオンラインでできるようにするべきです。また、感染症にも対応した災害時の事業継続計画は。

③小中学生のいじめやコロナ差別防止の取り組みは。大していく可能性はあるが、地元経済を守ることを考えると優先度は低いです。

④オンライン化は、利用者の見込み、導入費用など検討が必要です。感染症に対応する計画は、災害時の事業継続計画とは別に、主に人的資源を課題に定めていきます。

③教育現場だけではなく、町全体としての取り組みを周知徹底していきたいです。



柏崎秀行議員

③野外イベントは、国からの通知に基づく開催は難しい中、町はどのような考え方。
 ④公共施設の人数制限対策は。

藤田議員 新たな感染防止対策など常に先を見据えた進化する施策が必要です。

①消費形態や店舗もデリバリーナなどを展開し、営業形態が変化しています。共働きで不在である家庭も多く、町民と宅配業者との非対面の受け渡しが可能となり、再配達削減にもなる宅配ボックス購入費用の助成をしては。

②オンライン化は、利用者の見込み、導入費用など検討が必要です。感染症に対応する計画は、災害時の事業継続計画とは別に、主に人的資源を課題に定めていきます。

③教育現場だけではなく、町全体としての取り組みを周知徹底していきたいです。



新たな感染防止対策に宅配ボックスを

コロナ禍における各種イベント開催の考えは

答 地域における実情等を考慮しながらの対応となります

暮らし



ウイズコロナで新たな生活様式への対応を

答 オンライン化は検討が必要です



藤田直美議員



コロナウイルス検査装置（国保病院）

購入した遺伝子検査装置を医療スタッフへの検査等、有効活用をする考えは。

は。施する考え方

③宿泊療養型施設の確保は都道府県等が行うことになっています。本町では基準を満たす適切な施設はありません。今後保健所から要請があれば協議検討をします。

④北海道の公表基準に基づき、本人または関係者の同意の上、プライバシーに留意して公表します。

(情報共有)はできていないのですか。③PCR検査を希望する町民に国保病院では検査をしないのなら、診療所と連携し検査体制の整備をすべきです。④コロナ禍に於いて、町内の診療所、歯科との提携や支援は行つたのですか。懇

病診連携とは…

近隣の病院や診療所でそれぞれの役割を分担しあう仕組みです。本別町においては第6次総合計画で、国保病院と町内診療所、歯科医院等との病診連携の強化が掲げられています。



ものじり博士から

**コロナ感染症に対する町独自対策の考えは
答 感染症対策は北海道で行い町独自
でやれることはないです**



石山憲司議員

施設を準備する考え方

④ 感染者の発生時、町から具体的な情報がないと不安が広がるが、町としての公開方法の考え方を伺います。

石山議員 ①PCR検査について、町内感染者が出た場合、接触者や不安を抱く町民の中

高橋町長 ①検査はあくまで医師の判断に基づいて行うのが原則であり、希望される方への検査は行いません。
②医療スタッフの検査は外注方法を予定しています。

梅村議員 コロナ感染拡大が懸念される中、町の病院、診療所、歯科4施設の地域医療を崩壊させない体制づくりが急務です。

①国保病院発熱外来への問い合わせに対し、受診を断る、

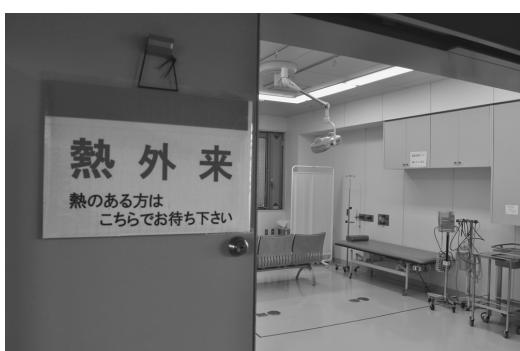
高橋町長 ①そのようなことは、承知しておりません。②民間の今までの実績だと思います。インフル予防接種についての連携はできていないと思います。③検査装置を貸与する予定は考えていません。④国保病院としては実施しておりませんが、町としてマスクを配付しており、お互いに協力できることは協力します。



梅村智委議員

談の場を設け、補助、助成等を含めて対応すべきです。

地域医療を崩壊させない体制づくりが急務



熱外来 来院時には連絡を

ものじり博士

農業振興基金とは…

平成16年度に「本別町の農業の振興を図るため」を目的に掲げ基金が設置されました。地域農業や新規就農支援などに活用してあり、町とJAで出資し、現在約1億4千万円の基金残高があります。



農業

農業基盤整備に基金の活用は農業振興基金は、JAと協議し拠出します。

答



大住啓一議員



基幹産業を守るJA本別町

大住議員 本町の基幹産業である農林業の振興は、町民生活の充実や町発展の礎になるものと認識していますが、現状の把握と今後の施策について考え方を伺います。

①今年の作況の中で、てん菜の糖度がやや低い点や小豆の価格下落などJAとの連携、職員の交流について考えは。

②暗きよ排水事業の再整備の考え方と幹線排水路の整備について考えは。

農業振興基金 を使う考えは。

③農業の人手不足に、建設業関係の労力を農作業に充てる考えは。④民有林の維持管理体制と約1,000haの町有林の現状とコロナ禍の影響は。

高橋町長 ①畑作物は平年作を確保しています。JAとは農業政策懇談会等で情報を共有し、地積調査は人材を派遣いただき進めています。②国道の補助事業で進めます。基金の拠出は、JAと協議し進めます。③JAのコントラクター等により運輸業・建設業との連携も行っています。④民有林・町有林の整備は、コロナ禍の影響なく進めていま

す。

②労働力軽減のためGPS（自動運転）とドローンの利用は。

③酪農家のバイオマスの早期実施に向けた考えは。



進む基盤整備（暗きよ排水工事）

②労働力軽減のためGPS（自動運転）とドローンの利用は。

③酪農家のバイオマスの早期実施に向けた考えは。

④民有林・町有林の整備は、コロナ禍の影響なく進めていま

労働力軽減のためGPSやドローンの利用を入の推進を進めます。

答



篠原義彦議員

篠原議員 基幹産業である農業を取り巻く環境は、内圧、外圧の中で厳しい状況ですが、若い経営者や後継者が夢のある営農を持続するための施策が必要だと思います。コロナウイルスの影響で価格の下落、消費の落ち込み等で厳しい状況ですが、町の考え方を伺います。

①基盤整備の進め方は。

②労働力軽減のためGPS（自動運転）とドローンの利用は。

③酪農家のバイオマスの早期実施に向けた考えは。

①令和10年までの整備計画で、総事業費42億3千万円、受益戸数101戸、暗きよ排水が1,070haで追加の申し込みは案内します。②国の補助事業をJAが取り進め、今まで自動運転システム100台が導入され、今後も事業を積極的に活用し、導入を進めます。

③本年より道からの支援事業を受け、先進事例を持つ企業との連携に向けた取り組みなど検討しています。環境問題を含めて、本別町家畜ふん尿利活用対策協議会を中心に行なう。今後の方針性も検討します。



教 育

ICT教育、タブレット持ち帰り可も検討を

答

ICT推進担当者会議で十分に協議します



阿保静夫議員

備と授業改善のための活用を優先的に進めます。

阿保議員 タブレットの家庭持ち帰りも可としている例が多いと思うが、検討していくべきではないか。

阿保議員 ICT（情報通信技術）を活用し、少人数授業や家庭学習充実に取り組む例があります。本町も小中学校の児童・生徒へのタブレット端末が配布されます。タブレット活用の授業が始まると、さらなる活用で学習意欲や理解度を深める効果が期待できる研究・試行に取り組む考えはいか伺います。

佐々木教育長 使用は授業を主として、臨時休業の場合は家庭活用を基本としてスタートしました。持ち帰りは今後立ち上げる学校関係者のICT推進担当者会議で十分に協議します。

阿保議員 ①福祉の充実が人口対策、及び経済の柱としても重要と考えるが、見解を伺います。
②つながりを生かし、テレワークオフィスなど求める企業との接点を探る取り組みを進めるべきと考えますが。



ワーケーションの拠点として期待される御所



行 政

人口対策に、福祉とテレワークの取り組みを

答

福祉の充実は人口、経済対策としても重要です

阿保議員 人口減少は避けられないが、「福祉でまちづくり」は重要です。

また、ICTを活用したテレワーク等の導入で、人口減対策効果を見る例があります。

また、人口対策に取り組む群馬県川場村の道の駅事業、長野県栄村の下駄ばきヘルパー事業などを研修しました。

①福祉の充実が人口対策、及び経済の柱としても重要と考えるが、見解を伺います。

②つながりを生かし、テレワークオフィスなど求める企業との接点を探る取り組みを進めるべきと考えますが。

高橋町長 ①福祉の充実は、人口対策、また、町の経済にとって重要と思っています。

②全国的にテレワークやワーケーションが広がりを構想推進のための校内通信やタブレット導入に向けた作業を1月中旬に終了の予定です。ICT活用の家庭学習は、現段階では、ICT環境の整

阿保議員 テレワークオフィスとして御所の活用は、見せており、プラン作成等を道と共同で実施しています。

高橋町長 通信環境も良くなつておらず、安定的に使える場所として捉えています。

ワーケーションとは…

ワーケーションはワーク（働く）とバケーション（休暇）を合わせた造語で、旅先で休暇を取りながら情報通信技術を活用して柔軟に働くといった、新しい働き方です。



佐々木教育長 ギガスクール構想推進のための校内通信やタブレット導入に向けた作業を1月中旬に終了の予定です。ICT活用の家庭学習は、現段階では、ICT環境の整



小中学校に導入したタブレット

ものじり博士から

浸水想定区域とは…

河川の氾濫等により浸水が想定される区域で、国土交通省において利別川流域における72時間の総雨量が308.1mmの降雨を想定して、ハザードマップが示されています。



消防庁舎の移転新築が必要では

答

具体的な早急に検討しなければならないと考えます

高橋町長 ①役場庁舎
南側の外側の階段から地下への浸水が想定され、地下に水が入った

②浸水時にかかる防災拠点としての消防庁舎を含む広大なエリアが浸水の際に失われる機能があるのか伺います。

③暖房用ストーブ、発電機用の灯油やガソリンが同位置に保管されておらず、避難当初や、道路が寸断され燃料が届かない時の応急的なものとして、備蓄がしやすいカセツトガスを燃料とするストーブや発電機の導入が必要では。



移転新築が求められる消防庁舎

柏崎議員 全国各地で豪雨災害が多発し、消防機能がまひした自治体も数多くあります。予測不能な災害が発生している中、消防庁舎の移転新築は急務と考えますが見解を伺います。

①新たな防災ガイドマップ

では洪水による浸水想定区域が加わり、本別町役場

を含む広大なエリアが浸水想定区域となり、

浸水の際に失われる機能があるのか伺います。

②浸水時にかかる防

災拠点としての消防庁

舎を含む広大なエリアが

浸水の際に失われる機

能があるのか伺います。

③暖房用ストーブ、発電機

用の灯油やガソリンが同位置

に保管されておらず、避難当

初や、道路が寸断され燃料が

届かない時の応急的なものと

して、備蓄がしやすいカセツ

トガスを燃料とするストーブ

や発電機の導入が必要では。

場合にはボイラ、貯水槽に影響が出ると考えています。
②総合的に考えると敷地の確保や費用が大きな課題となります。ですが、町民の生命と財産を守っていくためには、具体的な早急に協議をして検討していかなければならぬと考えています。

場合にはボイラ、貯水槽に影響が出ると考えています。
②総合的に考えると敷地の確保や費用が大きな課題となります。ですが、町民の生命と財産を守っていくためには、具体的な早急に協議をして検討していかなければならぬと考えています。

梅村議員 緊急災害の混乱時に速やかに必要な防災備蓄品を取り出し使用できる環境にななく、本町の防災意識の低さの現われともいえます。
①山積みする前の段ボールの全面に中身を記し、どこから見ても一目で分かるようにし、個数だけではなく、燃料はどこに要請する等の記載をし、誰にでも分かるようになります。

②現在備蓄庫となつてている役場地下や新町集会場等、浸水想定区域が水害で浸水した際の想定があるのか伺います。

③暖房用ストーブ、発電機用の灯油やガソリンが同位置に保管されておらず、避難当初や、道路が寸断され燃料が届かない時の応急的なものとして、備蓄がしやすいカセツトガスを燃料とするストーブや発電機の導入が必要では。

現状なら混乱は必至 防災備蓄の見直しを行つています

答

保管場所含め全体的な見直しを行つています

高橋町長 ①現状、備蓄内容が誰にでも分かる状態にはなつていいない状況でしつかり対応していただきたいです。
②コンテナなど新しく備蓄できる保管場所を設けながら対応していきます。
③簡易的に早くできるものはガスで対応します。



役場地下 感染対策備蓄品

コロナ禍の下、行政の最高責任者としての自覚は

答 予防対策を徹底し必要な出張に行つ

ています

大住議員 新型コロナウイル

スによる肺炎が確認され、感染

最高責任者としての考えは。

① 感染症対策本部の構成メ

ンバーと開催回数を伺います。

② 町民の方からの相談と対

応、情報伝達の手法は。

③ 国の対策と合わせ、予算

の伴わない町の独自施策は。

④ 秋以降、第3波の感染が

拡大している矢先、町長が11



月9日から14日までの間、東京都及び札幌市へ出張しています。なぜこの時期に、感染拡大地域へ出張したのか、最高責任者としての自覚はあるのか。また、国などからの情報報を町民、議会に報告する考えはあるのか伺います。

高橋町長 ① 町長を本部長として、副町長他21人で構成し、30回開催（11月末現在）して

います。

② 各担当部局で対応

し、チラシ等で知らせています。

③ 町のホームページへの掲載、予防啓発などです。

④ 全国的な協議会や道路要望など必要な出張があり、予防対策の徹底を図り出席しました。町の一大事の時は、議会と全ての情報を共有させていただきます。

藤田議員 今後も感染対策の長期化が予想され、外出自粛をする高齢者の身体機能の低下が懸念されます。生活機能の維持向上を目指します。

① コロナ対策における高齢者の健康維持対策について。

② 本町のフレイル対策は。

③ 生活習慣病予防と介護予

防が重なる65歳から75歳が重

要と考えます。

対象年齢の幅

を広げ、検査

方法など工夫

していくこと

が必要であり、

後期高齢者を

対象としたフ

レイル健診の

体制づくりと

健康データの

活用の考えは。



口腔ケアもフレイル対策

高橋町長 ① チラシやパンフレット、動画配信などにより啓発活動をし、運動機能低下防止と、75歳以上の1人暮らしの高齢者に個別に電話や訪問で相談を実施しています。

② 今年度から75歳以上の高齢者の医療や健診、介護のデータを分析し、悪化予防のため個別訪問を実施しています。

③ 質問票は特定

健診や後期高齢者

健診で活用してい

ます。データによ

り生活状況を把握

し、治療状況など

総合して指導を行つ

ています。今後も

フレイルを増やさ

ないよう本町なら

ではの政策を進め

福
祉

フレイル対策で生活機能の維持向上を
答 フレイルを増やさないよう本町な
らではの政策を進めます

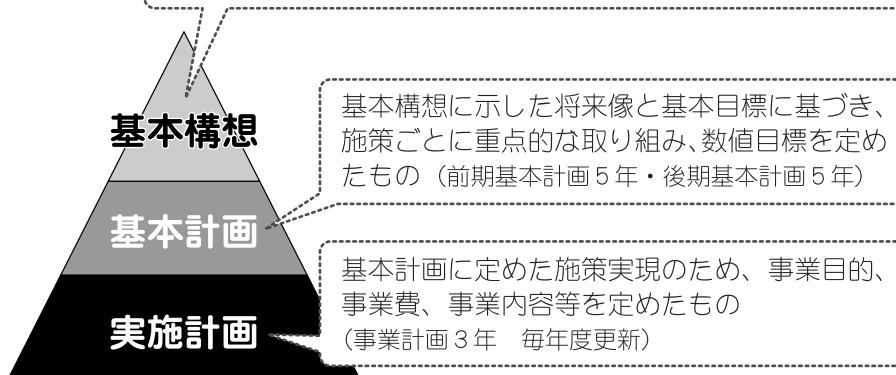
第7次本別町総合計画 審査特別委員会

心を合わせて
みんなの笑顔を
未来につなぐ

(本別町の将来像)



10年後のまちの将来像と実現のための基本目標を示したもの
(町の将来像・基本目標10年)



第4回定例会に提案され、第7次本別町総合計画基本構想及び基本計画(以下、総合計画)が12月9日、第7次本別町総合計画審査特別委員会(藤田直美委員長)に付託され審議されました。総合計画の期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間となります。

10年後の目標人口を、国立社会保障・人口問題研究所の調査値(5,061人)より多い5,500人とした根拠は、

答 生活

ごみの最終処分量の削減と環境負荷の低減について考えは、ごみを減らす、環境負荷を低減させるということは必要なことであり、実施段階で検討をしながら進めていきます。

問 生活

Iターン、Uターン施策、子育て支援等に力を入れ、若い世代を増やすことが大切だと考えます。

答 商業

Iターン、Uターン施策、子育て支援等に力を入れ、若い世代を増やすことが大切だと考えます。

問 産業

商工業者の声や要望に耳を傾け、新しい取り組みの対応をしていきます。観光関連施設について、観光協会等と協議をしながら対応し、商業振興・観光入込数共に右肩上がりになるような事業を開拓していくたいと考えます。

答 教育

教育

現在、社会教育施設などの長寿命化計画を策定しており、改修等は今後検討していく予定です。使えるものは修繕しながら

問 基本構想

10年後の目標人口を、国立社会保障・人口問題研究所の調査値(5,061人)より多い5,500人とした根拠は、

問 抜粋

多文化共生社会の実現に向けた考えは、

問 自治

本町でも、建設業や農業面等で外国人労働者が非常に増えています。共にこの地域で暮らしていくためにも、その方々の国の文化を認め、文化的な違いをお互い理解し、学ぶことが必要だと考えます。

答 福祉

子育て環境の充実を図るためにには労働面も大切だと思うが。



賛否の分かれた表決

令和2年中に開催された本会議では、町提出議案102件、議員発議6件、意見書8件など計154件の採決が行われました。今回掲載するのは、本会議中に賛否が分かれた議案（特別委員会と投票による採決は除く）です。

【賛否の欄】 ○：賛成、 ×：反対、 欠：欠席

※議長は採決には加わりません

動議とは会議の議事進行の過程において、議案以外で議員から提起されるものです。動議には、①議事進行に関する動議（本会議や委員会における会議の進行手続きに関するもの）、②議案に関する動議（議案の修正、討論の終結な

（③組織・事件に関する動議（特別委員会の設置や懲罰動議など）があります。）
動議の方法としては、口頭でも差し支えありませんが、重要なものは文書が必要とされています。動議を議題とするためには、自治法（115条の3）や会議規則で定める賛成者（議員の定数の12分の1以上）が必要です。

議会用語の解説

会議名及び開催日			男	女	計	会議名及び開催数			男	女	計
定例会	第1回(3/3~3/19)	4	0	4	議会運営委員会(18回)	10	1	11			
	第2回(6/9~6/18)	14	2	16	総務常任委員会(6回)	1	2	3			
	第3回(9/8~9/18)	10	1	11	産業厚生常任委員会(7回)	6	2	8			
	第4回(12/1~12/11)	14	11	25	広報広聴常任委員会(23回)	4	0	4			
小計			42	14	56	小計			21	5	26
臨時会	第1回(1/31)	2	0	2	予算審査特別委員会(3回)	0	0	0			
	第2回(4/27)	2	0	2	決算審査特別委員会(3回)	0	0	0			
	第3回(5/15)	2	0	2	本別町国保病院の運営に関する調査特別委員会(10回)	16	12	28			
	第4回(7/21)	4	0	4	第7次総合計画審査特別委員会(1回)	1	0	1			
	第5回(8/7)	1	0	1	議員協議会(20回)	8	0	8			
	第6回(10/9)	1	0	1	小計	25	12	37			
	第7回(11/24)	1	0	1	合計	101	31	132			
小計			13	0	13						

※コロナウイルス感染症拡大防止のため傍聴を自粛等をした会議（報道機関のみ計上）
第1回定例会、第1・2回臨時会、11月以降の講運・総務・産業・厚生・広報広聴各常任委員会

意見書

第4回定例会では意見書が2件提出され、原案のとおり可決されました。

核兵器禁止条約の批准を求める意見書

インターネットによる誹謗中傷を防止する対策を求める意見書

インターネットによる個
人への中傷はかねてから問
題になっており、発信者の
情報開示をプロバイダに求
めるプロバイダ責任制限法
の強制力を強化し、インターネ
ットによる誹謗中傷の被
害者を守る対策を国に求め
ます。

提出者 柏崎 秀行

可決

討論	
「意見書」に反対者	日本は核保有国が参加しない核兵器禁止条約は現実的でないし、条約の発効には参加していません。唯一の戦争核爆発国として、核兵器禁止条約の批准を速やかに行うことを強く求めます。
提出者 阿保 静夫	
「意見書」に賛成者	
梅村議員	核廃絶を目指すには段階を踏んでいくことが現実的で、速やかに批准を求める」とは現実的ではない。
石山議員	核兵器を廃絶し、恒久平和を実現することは唯一の核被爆国、日本国民共通の悲願。本町は非核平和の町宣言をしており賛成。
柏崎議員	条約に批准しないことは広島や長崎で被爆された方々に背を向けることになる。核の恐ろしさを決して忘れてはならない。
大住議員	地方議会として本町の置かれていく立場から賛成。過去の先人たちの歩みを良く考えていただき賛同を。
採決の結果	賛成 10 人 反対 1 人

委員会云しポン

③熱中症対策（エイスシードの着用）

本別町の防災体制と今後について

常任委員会

小中学校の新型コロナウイルス感染防止に伴う対応と今後の本別高校の存続に向けた教育委員会の考え方

調査日／令和2年11月5日



密を避け実施された入学式（中央小）

(1) 本別町防災会議

防災会議の構成は、町長

を会長とし、11の機関で構成されています。メンバーハンマーは①地方行政機関

②北海道知事部局③北海道
警察④本別町⑤本別町教育

委員会⑥消防機関⑦指定公

共機関等⑧公共的団体⑨陸上自衛隊自衛官⑩民間企業

(2) 本別町防災計画

本別町防災会議が作成し
国や北海道などと連携を図

3) 売電対応

(3) 働電文庫

4) 資機材等の備蓄状況

(食料 (2,075食)、水

所管事務調查



井出英彦さん(新町)

井出さんは、一昨年農業協同組合役員を退任され、現在農業委員会委員を務められています。傍聴には、在職中に農業関係の一般質問があつたので2回ほど聴きに来たことがあるとのことです。退紙面では分からぬ議場で時間ができることから、時間が決まつていないので目的の質問は十分に聞けなかつたそうです。退任

感想を聞きますと「議員の皆さんはよく勉強していると感じました。同じ内容の質問と答弁があり、事前に整理できなかったのかな」と疑問も感じたそうです。

議会だよりは分かりやすく要約されて読みやすいと褒めていただきました。現在、奥様と息子さんの3人暮らし、趣味の釣りや家庭菜園を楽しんでいて、昨年は玉ねぎやメロンなどをまずまずの出来だったそうです。終始和やかな雰囲気でお話を聞くことができ、貴重なご意見をいただきま

議会日誌

[11月中旬、下旬]

- 11日 本別町国保病院の運営に関する調査特別委員会、議会運営委員会
- 16日 議員協議会
- 24日 第7回臨時会
- 26日 議会運営委員会
- 27日 一部事務組合議会(帯広市)



[12月]

- 1日 第4回定例会開会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会
- 3日 議会運営委員会
- 8日 第4回定例会(一般質問)
- 9日 第7次本別町総合計画審査特別委員会
- 11日 第4回定例会(議案審議)、議員協議会、広報広聴常任委員会
- 23日 広報広聴常任委員会、議員協議会、議会運営委員会



[1月]

- 12日 広報広聴常任委員会
- 18日 広報広聴常任委員会
- 19日 議員協議会、本別町国保病院の運営に関する調査特別委員会
- 26日 第1回臨時会
- 29日 総務常任委員会所管事務調査



議会報告会・町民懇談会のお知らせ

昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催できなかつた議会報告会及び町民懇談会ですが、本年は5月の開催を予定しております。

詳しい日程等が決まりましたら改めでお知らせします。

3月の定例会は 2日開会、9日一般質問・ナイトー議会を予定しています

私たちの住む町の議会です
どなたでも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか



資源を大切に――

ほんべつ議会だよりは、道産間伐材を使用しています。